

全日本

花いっぱいだより

第39号

平成28年1月
全日本花いっぱい連盟

あけましておめでとうございます



山形県米沢市立六郷小学校

地域のおばあちゃんに花植えのこつを教えてもらったよ。

新春を 迎えて



全日本花いっぱい連盟

会長 菅谷 昭

明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、平素当連盟へのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

昨年は3年振りの第56回全国大会が静岡市で開催され、多くの仲間と交流を深め、また活動する上で多くの刺激を受ける事が出来ました。

本年も会員の皆様には、各地で理念である「花をいっぱいにして、社会を美しく、明るく、住みよくする」ため、花いっぱい運動にお取り組みをお願いして年頭のご挨拶いたします。

安曇野市紹介

安曇野市は、長野県のほぼ中央に位置し、3,000メートル級の北アルプスの麓の田園地帯にあり、平成17年10月に五町村が合併して発足し、昨年度市制施行10周年の節目を迎えました。これまで旧役場庁舎を利用し、本庁機能を分散して業務を行ってまいりましたが、昨年1月に新本庁舎が完成し、効率的な財政運営を可能にするとともに、市民のシンボルとなりました。新本庁舎は外壁に地元産木材を多用しており、朱い屋根と共に



目を引く外観となっております。

業務を開始した5月連休後には、2階と3階の東、南、西面のベランダ部分に地元の松くい虫被害材を活用したアカマツ製のプランターを置き、職員全員でサフィニアを植栽しました。水やりや花摘み等、花の管理も職員が分担して行い、長期間にわたり、色とりどりの花を元気に咲かせてくれました。

また、昨年11月には市制施行10周年を記念し「光城山1,000人SAKURAプロジェクト」として、光城山の山頂付近に300本の桜を植樹しました。

今回桜を植樹した光城山は、安曇野市の東山に位置し、桜の名所として全国的に名高く、桜の開花時期には多くの観光客が訪れます。

光城山の桜は、大正天皇の即位を記念して植えられたのが始まりとされており、その後植樹を繰り返して、現在では約1,500本が植えられています。頂上までの標高差約300メートルの斜面を登山道に沿って徐々に咲き上がっていく様子は、「昇り龍」に例えられており、



大変見応えのある素晴らしい景観です。

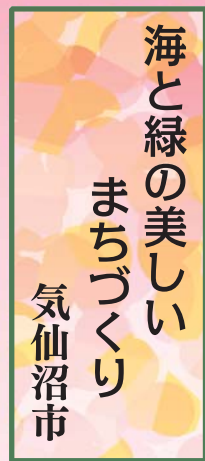
しかしながら、植栽後100年を超える桜は、近年樹勢の衰えが目立ち、「昇り龍」を後世につないでいくためには早い時期の桜の植え替えが望まれました。そこで、平成26年度にこのプロジェクトを立ち上げ、市民と行政の協働により桜の植樹に取り組んでいます。

植樹には多くの市民の皆さんに参加していただき、改めて里山の魅力を知っていただく良い機会となりました。

昨年出来上がりました市歌の題名である「水と緑と光の郷」を守り継承しつつ、田園産業都市安曇野を、市民の皆さんと共に進めていきます。

表紙写真：山形県米沢市立六郷小学校『地域のおばあちゃんに花植えのこつを教えてください。』

地域の更生保護女性会の皆さんが、毎年春と秋に花植えのこつを教えてください。一緒になって花植えを楽しんでいます。春はチューリップ、サルビア、ペゴニア、マリーゴールド、秋はパンジー、ビオラ…。きれいな花が枯れないように、みんなで水やりや草とりをがんばっています。



【おわりに】

気仙沼市は、東日本大震災で大きな被害を受けましたが、全国の皆様から温かい励ましやご支援をいただき、復興に向け1歩1歩着実に歩みを進めておりますこと、改めて感謝申し上げます。

【「花のみち45」の取り組み】

花いっぱい運動を通してゆとりと潤いのあるまちづくりを進め、道路景観の向上と環境美化を図ることを目的として、国土交通省との協力を体制のもと「国道45号気仙沼バイパス」未供用の二車線分に約4・3kmに渡り花壇を整備し、平成7年からサルビアやブルーサルビアなどの植栽がスタートしました。植栽は震災の年にも休まず実施され、現在も花壇周辺の自治会住民をはじめ、市民ボランティアや沿道の中学・高校、団体、企業など、約二千人の参加者により、約三万本の植栽が行われております。

また、平成24年からはチューリップ植樹事業（兵庫県尼崎市様との共



「花のみち45」ウォーキング大会の様子

催）にも取り組み、ゴールデンウィークには1万本もの鮮やかな彩りのチューリップが咲き誇ります。多くの市民が年間を通じて花壇管理作業に主体的に取り組み「花のみち45」は多くの方々に潤いと安らぎを与える憩いの場所となっております。

【気仙沼市緑化推進協議会の取り組み】

総合的な緑化推進を図るため、平成8年に「気仙沼市緑化推進協議会」

が組織されました。

現在、協議会では花壇整備や花苗購入などへの助成事業、「花いっぱいコンクール」や「花とみどりのまちづくりの集い」開催による啓発活動、市民ボランティア育成に向けた先進地視察研修や花壇管理講習会開催、地元企業や全国の皆様からのご支援を基にした植栽・植樹事業に取り組みしており、震災以前にも増して、花いっぱい運動の一層の展開を図っています。

【おわりに】

本市はまだまだ復興途中でありませんが、今後も、気仙沼市民憲章に定める「自然を愛し、海と緑の美しいまちをつくります」を目標に、市民一丸となって花いっぱい運動推進に取り組み、この活動を「活力ある地域づくり」「潤いのあるまちづくり」に結びつけていきたいと考えております。

ぜひ、復興に向けて進んでいる「気仙沼」へ足をお運びください。



「花のみち45」を彩る満開のチューリップ
(球根は兵庫県尼崎市の皆様から贈呈されたもの)



花いっぱいコンクール(個人の部)最優秀賞花壇



第56回 全日本花いっぱい静岡大会の様子



大会式典



記念植樹



家康公ゆかりの園芸展



趣味の園芸公開収録



秋の園芸市



葵の御門花壇

第39号
発行日 平成28年1月
発行 全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-1
Mライオン2F
TEL 053-3213042
FAX 053-3216511
ON 053-3216511



駿府城公園仮設花壇



駿府城公園の緑化体験ブース